

特別支援教育は、子供の可能性を最大限に伸ばすことを目指しています！

子供を支える特別支援教育の仕組み

小学校・中学校

学校全体で支援します！

通常の学級も含め、学校全体で特別支援教育を実施しています。

- 小学校・中学校には、通常の学級に加えて、「特別支援学級」や「通級による指導」の制度があります。
- 通常の学級に在籍する子供に対しても、個々の実態に配慮し、指導内容・方法を工夫した学習活動を行っています。

特別支援学級

障害の種別ごと、少人数の学級で学習します。通学する学校は居住地によって決まります。

特別支援学級では、一人一人のニーズに合わせた教育計画を立て、学習内容や方法を工夫して教育活動を行います。

交流及び共同学習

通級による指導
通常の学級に在籍し、ほとんどの授業を通常の学級で受けながら、子供の状態に応じた特別な指導を特別な教室で行います。発達障害と言語障害に対応した教室があります。

少人数指導や習熟度別指導などによる授業も行われています。また、各校に配置された支援員が学級の状況に応じて支援を行います。

通常の学級

連携

各学校は、さまざまな関係機関とネットワークを作って、成長に応じた一貫した指導を支援します！



特別支援学校

専門性を生かした特別支援教育を行います。

特別支援学校は、障害の程度が比較的重い子供を対象として、小中学校に準ずる教育を行うとともに、生活上の困難を克服し、自立を図るために必要な知識・技能を習得します。

視覚、聴覚、知的、肢体不自由、病弱・身体虚弱の各障害に対応した学校があります。

支援、助言、相談
交流及び共同学習

吉田町内の全ての小中学校に特別支援学級（知的学級、自閉・情緒学級）が設置されています。また、住吉小・自強小・吉田中に発達障害に係る通級、自強小に言語障害に係る通級があります。

学校内の特別支援教育体制

子供の気になるあらわれや心配ごと…

学習に関すること

- 計算は得意だけれど、漢字を書くことが苦手。
- 文字を覚えることに時間がかかる。書いた文字のバランスがとれない。
- 文章を読むことが苦手
- 図を写すことが難しい。
- 手先が不器用で、道具をうまく使えない。

行動に関すること

- 整理整頓が苦手。
- 落ち着きがない。じっと座っていることが苦手。
- 活動中、別のことが気になってしまう。友達に話しかけてしまう。
- 聞き洩らしが多い。
- 急な変更に対応できず、パニックになってしまう。

社会性に関すること

- 自分のことばかり話してしまい、会話が続かない。
- 友達の気持ちを想像した行動ができない。
- 友達とトラブルになることが多い。
- 順番を待つことが苦手。
- 自分だけのルールを作って遊んでいる。

学校の支援体制

担任の先生が感じる
気になるあらわれや
心配ごと

保護者が感じる
気になるあらわれや
心配ごと

学校の特別支援コーディネーター

学級担任、担任以外の先生、保護者、関係機関との連携

学校内での情報共有・具体的な支援方法の検討
「個別の支援計画」や「個別の指導計画」の作成

学習の場が決定するまでの流れ（就学支援の流れ）

学級担任に相談

見学や体験

校内での面談

校内における審議

町教育支援委員会における審議

校内での面談

学習の場の決定